

議員定数に関する調査特別委員会記録

令和7年5月14日（水）午後0時59分～午後1時18分（4階402会議室）

○出席委員（11名）

委員長	半沢 正典
副委員長	斎藤 正臣
委員	高木 直人
委員	浦野洋太郎
委員	佐藤 勢
委員	山田 裕
委員	遠藤 幸一
委員	根本 雅昭
委員	川又 康彦
委員	羽田 房男
委員	黒沢 仁

○欠席委員（なし）

○議会事務局出席者

議会事務局長	渡邊 洋也
議会事務局次長兼議会総務課長	佐藤 好和
議会総務課総務係長	神野由希子
議事調査課長	加藤 淳
議事調査課議事係長	根尾 貴子
議事調査課主査	本田 雅大
議事調査課主査	鈴木 順子

○案 件

- 1 委員長報告の骨子（案）、素案に関する会派意見について
- 2 委員長報告（案）について

午後0時59分 開 議

(半沢正典委員長) これより議員定数に関する調査特別委員会を開会いたします。

なお、地球温暖化など環境対策の一環として、今回の委員会から10月末までの期間は、ネクタイ、上着の着用は自由といたします。

それでは、お手元の式次第にのっとりまして委員会を進めてまいります。

1、委員長報告の骨子案、素案に関する会派意見についてであります。

前回の委員会では、委員長報告の骨子（案）及び素案についてご確認いただき、素案を各会派へお持ち帰りいただきました。お持ち帰りいただいた内容に基づきまして、各会派の意見について資料1にまとめましたので、皆さんと共に確認をしたいと思います。

それでは、資料の1をご覧ください。改めまして、各会派のほうから会派内の意見をここでご発言いただきたいと思います。

真政会さん。

(浦野洋太郎委員) 真政会ですが、素案ということで、内容という点では了であります、句読点とか、そういったものの細かいところの使用については、これまでの委員長報告の前例などに倣って記載できればなと思っております。

以上であります。

(半沢正典委員長) 真結の会さん。

(川又康彦委員) 原案どおりで可です。

(半沢正典委員長) 市民21さん。

(羽田房男委員) 記載のとおりですが、過去の未曾有の災害を乗り越えてきたことから定数を減らせないものではないとの意見、様々な認識を協議の中で確認してきましたというところを、定数を減らせないものではないという文言はちょっと市民の皆様方には表現が難しい、ちょっと分かりづらいのではないのかという意見がありましたので、ご提案申し上げます。

もう一つについては、前回の委員会でも申し上げましたけれども、参考人としての意見をいただきましたではなくて、前回の特別委員会の委員長報告においても、ご意見をいただきましたというふうに締めくくってございますので、そのように修正をしてくださいと、その2点でございます。

以上です。

(半沢正典委員長) 公明党さん。

(高木直人委員) 会派の皆さんから了承をいただきました。

以上でございます。

(半沢正典委員長) 日本共産党さん。

(山田 裕委員) 特にありません。

(半沢正典委員長) ありがとうございます。

皆さんにお持ち帰りいただきまして、会派から意見が出された内容につきまして委員長報告案をまとめるにあたり、正副委員長で協議いたしましたので、そちらのほうの内容について、まず皆様にご報告をさせていただきます。

前回の協議及び各会派からの意見を踏まえまして、今ほど言いましたように、本日委員長報告案を準備いたしました。ただいま各会派のほうからお話しいただいた内容につきましての対応についてなのですが、まず修正箇所につきましては、真政会からありました句読点に関しまして、3ページ、16行から17行目の、後ほど確認いただきますが、かぎ括弧の後の読点を削るということで整理をさせていただきました。

次に、市民21さんからご意見をいただきました点につきましては、まず8ページの17行目、後ほど確認いただきます。意見をいただきましたにごを加えるということで修正を加えさせていただきました。

そして、同じく市民21さんからありました5ページの15から16行目の表現につきましては、こちら真政会だけではなく、今回委員長報告につきましてはできるだけ、要約の部分もあるのですけれども、会派の意見をそのまま引用させていただいている部分でありますので、正副委員長としてはそちらをちょっと、今回は会派の意見を大切に、そしてできるだけ正確にお伝えしようというのが委員長報告の中にも反映させたいという意向の中で、この表現で確認しておりますことから、原文のままとさせていただければというのが正副委員長としてのまとめであります。

ちょっとまとめについてお話をさせていただきましたが、特に真政会さんと市民21さんのほうは、今言った内容に基づきまして委員長報告案をまとめておりますけれども、どうでしょうか。特段なければ、全体を見通してまたご意見をいただければと思いますけれども、そういう形でよろしいですか。

(羽田房男委員) 先ほどご報告をさせていただきましたが、正副委員長のほうでそのようなまとめで進めたいということであれば、会派としては了承ということであります。

以上です。

(半沢正典委員長) ありがとうございます。

(根本雅昭委員) 読点の話がありましたけれども、1ページ目の12行目の中ほど、参考にするものとする、丸の後のかぎ括弧の後ろの読点の扱いは、これも要らないと思いますけれども、いかがでしょうか。

(半沢正典委員長) 今回、実はかぎ括弧の後の読点につきましては、いろいろ事務局のほうでも過去の委員長報告、また一般的な使い方について、この際調べてもらいました。固定的な使い方ではなくて、どちらでも正解というようなのが今回のあれで、それでかぎ括弧同士の間読点を今回は取らせていただきましたけれども、12行目のかぎ括弧の後のかぎ括弧がない後の読点の扱いについても、皆さんのほうで取ったほうがいいというのであれば、それはそれで間違いでもなく、このままでいいよというのもこれ間違いではなくというのが今回ちょっと答えで、真政会のほうからはかぎ括弧の部分がー

応あったので、そちらの読点だけは整理させていただいたという状況だったのですけれども、根本委員の意見に皆さんご賛同いただけるのだったら、正副委員長としてはこだわるものではありませんので、事務局の見解があれば。

（議事調査課長）今委員長にご説明いただいたとおりですが、この句読点の打ち方というのは、いろいろルールといいますか、書籍も調べました。最終的な結論としましては、特別のルールがないというような形になりますが、昭和21年の文部省教科書局、こういったところでくぎり符号の使ひ方なんというのも出ておりまして、ここにかぎ括弧の後の句読点、読点もでございますけれども、その整理の部分はちょっと見えませんでした。あと、令和4年1月に公用文作成の考え方ということで、文化審議会のほうで出した整理がございます。こちら確認をいたしました、明確に読点を打つのは間違いだとか、正しいとかいうのは出ておりませんでした。一般的にネット上で出ているものも調べたのですが、例えば条例の中の条文中の中にかぎ括弧が連続して、読点を打つかどうかということにつきましては、問題がないという見解があったり、そのほか、一般的にかぎ括弧は記号でございまして、記号の後に点を打つというのはあまり、避けたほうがいいのではないかと、こういった見解もあったりしておりますが、公式にどちらかということとはございませんので、あとこれまでの委員会でも点を打っていないものもありますし、打っているものも過去にはあるという状態でございますので、この委員長報告の中で整理できればというところでございましたが、基本は記号の部分では括弧の後の点は取るという整理にいたしまして、文章の部分は今回そういった形を取らなかったという整理で考えたところでございます。

説明は以上でございます。

（半沢正典委員長）ということなので、先ほど言ったように、取るべき、取ったほうがいいというような形で皆さんがご了解いただければ、それはそういうふうにご意向に沿ってやりますし、特にこだわらないということでありましたら、このままでいかがかなということでどうでしょうか。

（根本雅昭委員）正副委員長手元で整理いただければと思います。

（半沢正典委員長）では、正副で整理させていただいた内容にさせていただいてよろしいですか。

（根本雅昭委員）はい。

（半沢正典委員長）ありがとうございます。

ほかに何か全体を通してなければ。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（半沢正典委員長）それでは、一度素案ももういろいろ何回も読んでいただいて、会派で持ち帰り、ご説明いただいた内容にほぼ大きな変更点はございませんが、以上の点も踏まえまして、最終的な内容の確認をこの場でしていただきたいと思います。

それでは、お手元の委員長報告案につきまして、5分程度時間を設けますから、黙読のほうを一度お願いしたいというふうに存じます。それでは、お願いいたします。

【資料黙読】

(半沢正典委員長) それでは、一応5分ちょっと経過いたしました、よろしいでしょうか。一応一通り目を通していただけたかと思います。

改めて通して委員長報告案をただいま黙読いただきましたが、最終的に何かご意見等がありましたら、ここで挙手の上、ご発言いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) ないということなので、これで協議のほうは終了したいと思います。

ということで、ただいまの文書をお持ち帰りいただくということで確定をいたしました。よろしいですね。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) それでは、資料の②をご覧くださいと思います。調査日程であります。

一昨年12月15日、第1回の委員会を開催いたしまして、行政視察を含めまして15回の委員会をこれまで開催し、議論を重ねてきました。本日お示しした内容で委員長報告がまとまりましたので、改めて委員の皆様へ心より感謝を申し上げます。

今後につきましては、本日お示しした委員長報告案を各会派にお持ち帰りいただきまして、次回の委員会で持ち帰り結果の確認をさせていただくこととなります。6月定例会議におきまして委員長報告を行うため、持ち帰りの結果を確認させていただいてから議長に申入れを行うこととなります。また、今回の会派持ち帰りとは並行いたしまして、無所属議員2名への委員長報告案の確認を行う予定となっておりますことを皆様にお伝えしておきます。

以上、用意した議題は終了であります。皆さんのほうから何かございましたら発言をいただきたいと思います。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) ないようですので、これをもちまして議員定数に関する調査特別委員会を終了いたします。ご苦労さまでした。

午後1時18分 散 会

議員定数に関する調査特別委員長 半 沢 正 典